

## 新型コロナウイルス感染防止対策について

### 1 3密（密閉、密集、密接）回避

- (1) 宿泊部屋は最大利用人数の50%以下となるようゆとりをもって割り振りし、ベッドや布団の間隔をあけてご使用できるようにします。宿泊部屋の部屋割りは、同じ山岳会（協会）、同じ山岳連盟（協会）のメンバーで割り振ります。さらに、宿泊部屋単位でチームを構成し、食事や入浴等は可能な限りチームで行動します。
- (2) 参加者には、マスク着用、咳エチケット、手洗い・アルコール手指消毒液等による手指の消毒をお願いします。
- (3) 講義室の座席は指定します。講義中は参加者同士の距離を確保し、適時換気を行います。施設内では講師、受講者とも全員マスク着用します。
- (4) 食事や入浴に関して、時間差や対面を避けて座るなどの対応を行い、可能な限り接触機会を避け距離を確保します。
- (5) 食堂の座席は、テーブルの片側あるいは互い違いに座り、前後左右に最低1席分以上の間隔を空けて着席するものとし、参加者間の距離を確保します。
- (6) 入浴は一度に利用できる人数の半分（10名）で利用し、宿泊部屋毎に時間差を設けて入浴します。洗面具等、入浴に必要な用具は各自が専用のもので用意してください。
- (7) 登山中および休憩時は距離を確保し行動いたします。また、安全性が高くセルフレスキューが容易で既知のルートを選定することとします。
- (8) 読図実技研修場所から、バスを利用して移動するため、バス内で参加者が一度に密集することのないようバス定員を選定し、乗車順を事前に決定します。
- (9) 部屋割り、講義室の座席、部屋ごとの入浴時間等は受付時にご案内します。

### 2 感染症対策

- (1) 主催者はマスクを着用し、対応いたします。
- (2) 施設内（ドアノブ、テーブル、イス等）を定期的に消毒します。
- (3) 可能な限り、講義室の扉は開放し、講義室内の換気に努めます。
- (4) 施設の入口のほか、必要な各所にアルコール手指消毒液、ペーパータオル等を設置します。
- (5) そのほか、施設のルールに応じた対策を行います。

### 3 参加についてのお願い

- (1) 研修会開催1週間前から当日までの体温や体調を「体調管理チェックシート」に記録し、提出してください。発熱や咳等がみられた場合は、参加をご遠慮頂く場合があります。また、研修会中も1日2回（朝・夕）の体調チェックを行います。受講中に体調の変化を感じられた場合は、速やかにお申し出ください。研修会参加時には、うがい、手洗い、マスク着用など、ご自身での感染予防にも努めていただくようお願いいたします。
- (2) 新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧、透析、免疫抑制剤や抗がん剤等使用者等）を持っている方は、参加前（申込前）に医師の判断を仰いでください。
- (3) 研修会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染が確認された場合は、必ず主催者にご連絡ください。

### 4 参加後の対応について

- (1) 感染が疑われる参加者・運営関係者が発生した場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行います。
- (2) 取得した参加者情報に従い、接触した可能性のある参加者へ情報提供を行い、感染が疑われる症状が発生した場合、医師の診察を受けるよう案内いたします。

### 5 その他

- (1) 自治体にて作成のガイドラインがある場合、それらに準拠し、運営手法に関する齟齬のないよう理解を求めます。